

『経気管支肺凍結生検の導入が特発性肺線維症における抗線維化薬の開始に及ぼす影響の
後方視的検討』に関する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『経気管支肺凍結生検（TBLC）の導入が特発性肺線維症における抗線維化薬の
開始に及ぼす影響の後方視的検討』という研究を行っています。TBLC の抗線維化薬開始へ
の影響を検討すること、今後の同様の患者様の診断を考える際に有用と考えています。

<調査の対象となる患者さま>

対象：2014 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に当院で初回評価（精密肺機能検査）され、
その後、特発性肺線維症と診断され、2025 年 12 月 1 日までにピルフェニドンまたはニン
テダニブが開始された患者様。

<調査方法>

患者様のカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をお
かけすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる
情報が外に出ることは決してありません。

<試料、情報利用の拒否について>

この研究の対象として試料、情報の利用をお断りになりたい方（ご本人ないし代諾者）はご
連絡ください。研究結果が学会や学術雑誌で発表された後のご連絡には対応できません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究事務局までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

呼吸器内科

茂田 光弘

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-2153

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会（IRB）における厳重な審
査・承認を受けて実施しています。